



これからどうなる？
群馬の古墳

群馬に生きる古墳たち

彼らはこれから

どのようにして生きていくのか・・・

太田市立太田中学校 2年 藤木夏生

1 きっかけ

群馬県には多くの古墳があることは知っていた。東国文化副読本にも多くの古墳の写真や情報があり、中には私の自宅の直ぐそばに古墳群があったため驚いた。また、小さな山かと思っていたところが古墳だと知ったときは、その大きさに驚いた。そこで他の古墳の写真を見たら、古墳の真ん中を道路が通っていたり木が生い茂り森のようになっていたりした。そのため私は歴史的に大切に、ぐんまの誇れる遺跡「古墳」をどのように後世に受け継ぎ、同時に多くの人々に身近に感じてもらえるか追求していこうと思った。

2 調査方法

群馬県の古墳は今、どのように生きているのだろうか。「東国文化副読本」の写真、情報、インターネット、先輩から借りた「ぐんま古墳探訪」を使い、調査していく。

＊**注意点** コロナウイルスの感染拡大防止の為にフィールド調査は極力減らし、自宅近くの古墳を見に行く場合には、必ずマスクをし、「3密」を回避、消毒をこまめにするなどして感染対策を徹底して行う。

3 調査

1 群馬の古墳の現状

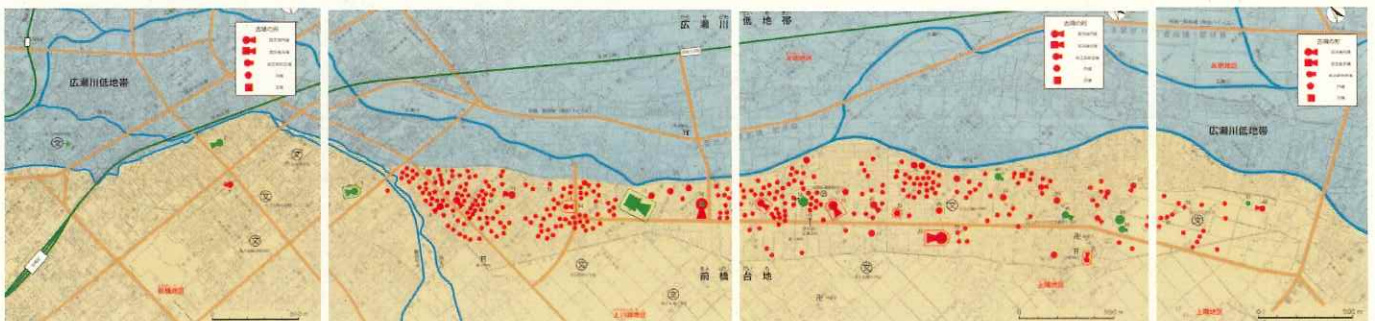
群馬県にはおよそ1万3千基以上の古墳があったことがわかっている。その中で、災害や風化、人的開発がありながら今もなお2000基あまりの古墳がその姿を留めている。これは群馬県の誇るべきことでありこれから何十、何百年先までも残していく必要があると思った。その2000基あまりの古墳が今、どのように生きているのか調査していく。

はじめに、開発により消滅してしまった古墳

朝倉・広瀬古墳群 前橋市

「上毛古墳総覧」によるとこの地域には150基を超える古墳があったが今は開発により、そのほとんどが消滅してしまった。しかし中には八幡山古墳のように公園として残っている古墳（緑色の記号）もいる。

この赤い記号がかつて古墳があったとされる場所→



(画像 群馬の古墳時代はここから始まった朝倉・広瀬古墳群 より トリミング編集あり)

この朝倉・広瀬古墳群は有名だが、この他にも誰にも知られずになくなったのも多い。その多くは古墳時代に作られ、そこから1000年、1500年以上も守られ続けてきた。だが、多くがここ100年ほどで削られたり、埋められたりして、消滅してしまったらしい。その原因が戦後復興や区画整備によるものだった。だからこそ今残っている古墳を保存、復元していく必要があると思う。

そこで次は様々な形で**保存されている古墳**を見ていく。

公共施設として、群馬県には「日本の歴史公園100選」に選ばれている公園が7つあり、うち2つが古墳に大きく関連している。

上毛野はにわの里公園 高崎市

二子山古墳、八幡塚古墳、薬師塚古墳、その他小型古墳

渡田古墳群は国指定史跡になり整備され、歴史公園として公開されている。古墳は当時の様子が再現されていてその大きさは写真からでも分かる通りだ。また、園内には博物館、文学館などがあり実際に埴輪を間近で観たり、はにわ工房で埴輪を作ることができる。この施設を通して歴史的貴重な物品を見て古墳を含めた群馬の歴史を学べると思う。

画像1 上空からの古墳群と公園➡



画像2 かみつけ博物館内➡



(画像1, 2 高崎市ホームページ 上毛野はにわの里公園オフィシャルサイト より)

大室公園 前橋市

前二子古墳、中二子古墳、後二子古墳、小二子古墳、その他小型古墳

この公園は、五料沼を中心とした雑木林や、水生植物といった豊かな自然が広がっている他、駐車場やトイレ、遊具などが充実しており、家族で訪れる人が多いそう。そして何より古墳たちは古くから地域の人達により大切にされていたため今もその形のまま保存されている。また、M4号墳は小型の古墳で芝を張って整備されているため上に登ってみたり、遊んだりできるようになっているため楽しく安心して古墳と触れ合えるそう。

画像3 五料沼と大室古墳群➡



画像4 M4号墳➡



(画像3 ググっとぐんま公式サイト 大室古墳群 より)

(画像4 フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』 大室古墳群 より)

この2つの古墳群の共通点は整備が行き届いている点と、歴史公園となり人々と深く関わっている点だ。この古墳群は、古くから人々に大切に守られ続けてきたため保存状態が良い。これは、群馬の古墳を守っていく上で理想的な姿だと思う。しかし、ここまでするには多額の整備費や多くの人々との協力が必要のため、すべての古墳で行うのは厳しいと思う。

では、**他の古墳**たちはどうだろうか。家の近くの古墳を見てきた。

再現、整備され、公園になっている古墳

オクマン山古墳 太田市

脇屋古墳群の中核とされ、「鷹匠埴輪」や「笠をかぶり鋤をかつぐ農夫」が京都国立博物館に保管されるなど数多くの埴輪などが発掘された。しかし土地開発事業などにより消滅してしまった。現在はすぐ近くに当時の様子が再現されており、緑が多い池のある公園になっていた。住宅街からも近く、地域の人が散歩に来るなど地域に馴染んでいた。

芝が張ってあり誰でも登れる→



(写真 作成者撮影 オクマン山古墳)

地域に馴染んでいる古墳

八幡山古墳 太田市

八幡山の山頂に作られた古墳。前方後円墳の後円部上には大島八幡神社が祀られている。また八幡山には家が立ち並び、斜面を利用した太陽光発電も行われていた。私も古墳だと知らなかったのも、この調査で知ることができて私は嬉しい。

大島八幡神社入り口→

太陽光発電→



(写真 作成者撮影 八幡山古墳 大島八幡神社)

鳥崇神社古墳 太田市

鳥崇神社が祀られている。前方後円墳だったが前方部や堀が削られ道になり、後円部だけが残されたようだ。今では砂地に整備され、公園も隣にある。そこではお祭りがあり、また桜の木が多く、私も含め地元の人達の思い出深い憩いの場所だった。話がそれるが、クビアカツヤカミキリの調査以来初めて訪れたのだが、ここでも多くの被害が出ていたのを覚えていいる。

様々な年齢層の人が訪れる公園→ 鳥崇神社には合格祈願のためにも訪れた→



(写真 作成者撮影 鳥崇神社 鳥崇神社古墳)

亀山古墳 太田市

菅原神社が祀られており、古墳の形から前方後円墳だと思われる。地域の集会所もあり、子どもたちがよく遊んでいるのが見られた。

横から見ると神社が高い所にあることがよくわかる→



(写真 作成者撮影 菅原神社 亀山古墳)

このように今現存する古墳は神社や公園などの公共施設が併設してあることが多い。逆に言えば神社が祀られてたから、今もなお人々のそばで大切にされているのかもしれない。

2 群馬県や市区町村が行っている保全活動

古墳は歴史的に重要で群馬の宝と言ってもいい。できれば現存する古墳をこれからも守り、後世に受け継いでいきたい。では一体誰がどのように保全しているのか、ここで調査した。

古墳を守っていくことも大切だが、それと同時に多くの人々に知ってもらい、興味、関心を持ってもらうことも大切になると思う。その興味関心が保全活動につながるからだ。そのため先ほど紹介した通り多くの古墳では公園となり、地域に馴染んでいた。また、地域の資料館や図書館ではその地域の古墳や歴史的物品について豊富な資料も準備されている。

そして私が驚いた活動が伊勢崎市のお富士山古墳などで行われていた。桜が植林してあり、観光面でも人を集めていたのだ。更に、古墳の土砂崩れなどが問題になっている中、桜や芝を植えることで根が水を吸収したり古墳の形を留めたりする効果があると考えた。これはいい事づくしと言っていい程、素晴らしい活動だと思った。



←画像5 桜が綺麗な、お富士山古墳

(画像5 伊勢崎市ホームページ お富士山古墳より)

では、他に問題点はないのか。「1 群馬の古墳の現状」で紹介した高崎市の「上毛野はにわの里公園」や、前橋市の「大室公園」は、その市が管理、整備しているようだ。つまり、税金や募金、ボランティアにより守られているということだ。例えば大室公園ではボランティアの方がガイドをされているそう。そうすると古墳を新たに整備する他にも、今ある古墳や資料館の維持費がかかってしまう。

また、単に古墳を次の世代へ残していくのなら作で囲い、立入禁止にするのが一番だ。現に古墳では石棺や埋葬品などが盗まれてしまうことも多いそう。しかし重要な古墳を除き、多くの古墳が今公開されているということは、市区町村と人が信頼で結ばれているからだと思う。だからこそ私達もルール、マナーは守っていく必要がある。

大阪府の活動

ここで、古墳で有名な大阪府の活動を調査した

大阪府には歴史的に重要な古墳が多いことは小学生の頃に学んだ。その代表格と言えるのが太仙古墳だろう。それを含む百舌鳥古墳群では周辺の古墳との一体化した保全活動が行われていた。具体的には遺構内の公有化と柵などを用いた立ち入りの制限がある。百舌鳥古墳群では一部を除き多くの古墳が立入禁止となっている。なぜなら、天皇及び皇族の墓所だからだ。

また、景観面も重要視している。それぞれがもつ様々な形と大きさは日本の歴史を表すものでもある。堺市は「百舌鳥・古市古墳群では、建築物の高さ、色彩などの形態意匠、屋外広告物の大きさ等に対して都市計画法・景観法・屋外広告物法などの適用による制限を設け、より良い景観形成を目指していきます。」と言う。百舌鳥古墳群のある堺市周辺では宅地化が急速に進み、戦後復興期には現存していた古墳の半数以上が消滅してしまったそうだ。その証として同じ古墳などでも有名な、お隣京都府の樺井大塚山古墳ではJR奈良線が後円部を横切っている。この古墳は3世紀中期から後期という最古級の時期に作られたと考えられている希少価値のある古墳でここからは卑弥呼が中国、魏の皇帝から頂いたともいわれる鏡が出土した。今となっては残念だ。



←画像6 前方後円墳ということがうっすら感じ取れる。

(画像6 フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』 樺井大塚山古墳 より)

そのため、同じく法律や条例による制限で今ある古墳を守り、後世に受け継ぐ活動をしているという。管理者による古墳を含む周辺のモニタリング調査。近畿地方に多い濠水が古墳の侵食を防ぐための護岸工事。来訪者へ分かりやすい案内や安全な遊歩道の整備なども進められている。他に教育の面でも力を入れていた。具体的には市と学校などの団体が連携して歴史授業を行っている。

このような方法で、大阪府や堺市では現存する古墳を強く守っていた。群馬県も同じことをしている点がある。

3 私の考え

群馬県は「東日本最大の古墳県」と言われるほど古墳が多い。そのためか、一つ一つの古墳への管理が十分でないように思える。そこで私が考える古墳の保存方法を提案する。コロナウイルスの感染拡大が続く中活動を続けるのは厳しいと思ったため説明欄に対策も考えてみた。

重要な古墳は柵などを用いた立ち入りを制限し、夏休みなどでイベントとしてガイドさんの付き添いで公開する。

《理由》

普段は立入禁止にできるため「古墳を保存する」という点で良いと思った。イベントでは人数予約制にして、資料館の方にガイドをしてもらうことで興味関心が増えると考えた。また、古墳群や大きい古墳ならば多くの人に参加する考えたので小規模のブースを構えて古墳や埴輪にちなんだものを販売したりやパンフレットなどを配布しても面白いと思った。更に世界に伝えたいので英語案内もパンフレットに入れたい。しかしコロナウイルスの感染拡大の中、イベントを実施するのは厳しいと思う。

群馬県に多い古墳を利用して学校で近くの古墳を見て回ったり、草むしり、ゴミ拾いなどを行う。

《理由》

これは、生徒が参加できるため教育面で良いと思った。群馬県なら少し移動すれば古墳があると言っても過言ではないので、校外学習ということで行ってみてもいいと思う。また私が通っている太田中学校では群馬県で出土した「打製石器」や「磨製石器」、埴輪などが一週間ほど展示されていた。市の方がお越し下さり、様々なことを教えて下さった。初めて実物を見たので感動したのを覚えている。この体験を沢山の人のしてもらいたいと思ったのでおすすめしたい。そして、クラス別での少人数で学習すればコロナウイルス感染対策も屋外での学習のためリスクは少ないと思う。

都市の中に手つかずの古墳があれば芝を張って公園として開放する。

《理由》

芝を張ることで古墳の形を留めることができ、公園として開放することもできる。また田んぼの真中にある古墳はその地域の景色の一部にもなっているので、問題がない限りはそのままが理想的だと思った。だから、都市の中にある古墳を活用することで人との関わりも増えると思った。

古墳スタンプラリーを開催する。

《理由》

群馬県には数多くの古墳があったが、これをすべて制覇するのではなく例えば、第一回は前橋市内の古墳、第二回は太田市内の古墳、のように分けてスタンプラリーをすることで、楽しく様々な古墳を見てもらえると思う。また、すべて制覇した方には歴史博物館の無料チケットを景品にするなど群馬の歴史にまつわる景品を贈呈するのが良いと思う。だが外出を控えているこのコロナ禍ではまずできないので、コロナが落ち着いた頃に開催してほしい。

これらは実際に行われているかもしれないが、群馬県だからこそ出来ることもある。また教育が未来の群馬県を作っていくと思うので、改めて頑張ろうと思えた。そして今はコロナ禍なので財政面で厳しい状態が続いている中できることは限られている。しかし歴史的なものは一度なくなってしまうたら、もとは戻らないので計画的にこれからも保全して行ってほしい。

4 まとめ

今回古墳について調べてわかったことがある。群馬県は結構すごいということだ。今まで、関東の秘境とか暑い国、なんて思っていたけど古墳の多さや大きさ、たくさんの出土品を見て感動した。特に実際に古墳を細かく見たときは「群馬も昔は凄かったんだなあ～」と思った。

そして、歴史が苦手だった私が古墳の歴史を学んでみて実感したことは「歴史から学べることはいっぱいある」ということだ。いままではボコボコした小さい山が多くて、削ってほしいなんて思っていたが、今になっては考えられない。復元してほしいとまで思うようになれた。そしてコロナウイルスが収まった頃に、大仙古墳を見てみたいと思っている。

引用

- 表紙の画像 太田市ホームページ 天神山古墳 より

参考文献・引用先サイト

- 「群馬の古墳時代はここから始まった朝倉・広瀬古墳群」
- 上毛野はにわの里公園 高崎市ホームページ 上毛野はにわの里公園
- 大室公園 前橋市ホームページ 大室公園
- オクマン山古墳 太田市ホームページ オクマン山古墳
- 八幡山古墳 太田市ホームページ 八幡山古墳
- 椿井大塚山古墳 椿井大塚山古墳
- 大阪府の活動
https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/shokai/sekai_isan/ichiran/pdf/r1419077_11.pdf
- 大阪府の活動
https://www.city.sakai.lg.jp/kanko/rekishi/bunkazai/bunkazai/mozu_shiseki_iinkai/mozu_kanrikeikaku.files/mozu_kanrikeikaku_4.pdf
- 「ぐんま古墳探訪 見て学ぶ東国文化の輝き」 群馬県
- 「東国文化副読本」